

ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験 +地球温暖化を防ぐ10のことができること



環境ふくい推進協議会

保護者・指導者の皆様へ

「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」の目的

自然体験や環境教育の必要性は皆さんご存知だと思いますが、バランスの良い体験とはどんなものなのかよくわかりません。こどもたちの栄養を考える時には「栄養表」というものがあるのに、バランス良く自然体験をする「自然体験バランス表」というものはあまり見かけません。自然体験もバランスよく体験することが大切です。

環境ふくい推進協議会では、このバランスを考えた体験メニュー50項目を考えました。なるべくシンプルに体験できるメニューです。あくまでも「参考」にさせていただき、できる範囲で体験していただきたいと思っています。

また、今回は【+地球温暖化を防ぐ10のできるこ】を加えました。

今、私たちの生活は、どんどん自然とのつながりを感じられない方向に進んでいます。しかし、地球温暖化防止は、人類だけでなくすべてのいきものにとって最重要課題です。ですから、少しでも自然とのつながりを感じられる、また、自然へ興味がわくセンサーを子どもたちにプレゼントしてあげて欲しいと願っています。

それぞれのご家庭のペースで、こどもたちの興味や能力のレベルに合わせて無理なく、お子さんの「原体験としての貴重な記憶」になるよう、活用していただければと思っています。

環境ふくい推進協議会 アドバイザー・環境カウンセラー

鈴木順一郎

※この冊子ではこども向けの文章と保護者・指導者の皆様向けの文章が入っています。これは是非皆さんと一緒に考えてほしいという意図からです。こどもたちへいろいろ教えてあげてください。

※自然体験を行うときは、熱中症対策のほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「3密」（密集、密接、密閉）を避ける、こまめに手洗いをするなどの対策をお願いします。

<環境ふくい推進協議会について>

環境ふくい推進協議会は、環境保全活動に取り組む人々の自発的な活動の推進母体として、環境保全にかかる県民、団体、企業のネットワークづくりや地域に根ざした活動の育成を図り、継続的かつ着実な環境保全活動の推進を図ることを目的に、平成6年に設立されました。

主な活動内容は、

- ①環境に関する講演会や情報提供、②環境保全団体に対する支援、③地域に根差した実践活動などです。

③の「地域に根差した実践活動」の一環として、環境アドバイザー制度を導入しています。環境アドバイザーとして、自然体験・自然観察分野の専門家の派遣もできますので、この本の体験メニューを子ども会やPTAなどで行う時の指導者選びでお困りの時は、協議会事務局までお問い合わせください。

※環境ふくい推進協議会については、25～26ページで詳しく紹介しています。

<ホームページで自然体験の施設を検索>

環境ふくい推進協議会のホームページには、自然体験ができる施設を検索できるコーナーがあります。このコーナーでは、市町の施設を中心に、施設名や体験できる内容、ホームページアドレス、電話番号、住所などを紹介しています。

www.kankyou-fukui.jp/110_nature_experience/index.html



「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」

基本15項目、応用35項目、計50項目のバランス表



保護者・指導者の皆様へ

こどもたちがいろいろな体験をする時、是非とも大人の皆さんも一緒に楽しんでください。初体験なことがたくさんあるかもしれません。こどもの目線で一緒に楽しみましょう！

その時に、「何故なんだろう？」と思う心を育ててあげてください。そして、その「何故」の「答え」を一緒に見つけてあげてくださいね。これが「コツ」であり「大切」なことなんです！

「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」

基本15項目、応用35項目、計50項目の内容表



保護者・指導者の皆様へ

この表はあくまでも目安です。それぞれのご家庭にはそれぞれのペースがあると思いますので、興味のあるところから体験してみてください。体験していなかったものはさかのぼって体験してください。すでに体験済みの場合は、先へ進んで体験してください。バランスよく体験することが、とても大切です！

「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」

幼児向け

遊びの中から「面白さ」を原体験として経験

基本

1、森（もり）で遊（あそ）ぶ

もりへいこう。

もりにはどんな木（き）があるんだろう？

木（き）に耳（みみ）をあてたら、なにか、きこえるかな？

どれくらい高（たか）いのか、見（み）あげてみよう。

ムシもたくさんいるよ！ トリのこえも、たくさん、きこえるよ！

さあ、もりへいってあそんでみよう。



保護者・指導者の皆様へ

まずはとにかく森の中で遊んであげてください。遊びは何でも構いません。そして是非、こどもの目の高さと同じところから見てください。こどもの視線はとっても低いんです。でも低いからいろいろなものが見えるんです。虫やいきものはたいがい草や葉の裏にいます。とにかく森の中で、こどもが興味を示すものを一緒に楽しんであげてください。

基本

2、川（かわ）で遊（あそ）ぶ

かわで、あそんでみよう。

かわはどこから流れてきてどこへ行くのかなあ？

かわの中（なか）にはどんないきものがいるんだろう？

みずをバシャバシャやってあそんじゃえ！ すずしくて気持ちいいよ！

きれいな石（いし）やおもしろいかたちの石（いし）もさがしてみよう！



保護者・指導者の皆様へ

水は面白いですが危険でもあります。ですから一緒に遊びながら目を離さないようにしましょう。そのためには一緒に遊ぶことがコツです。必ず一緒に川に足をつけて同じ位置で遊んであげてください。そして、いろいろなことを教えてあげてください。山の上から川は流れて町を通過して海まで行くこと、そして、その海の水が空気中に蒸発して雨になって山に降り、また川になること。なんでもかまいません、川で遊びながらお話をたくさんしてください。

※ライフジャケットを必ず着用させてください。

基本

3、海（うみ）で遊（あそ）ぶ

うみにいってみよう！

うみにはいってあそぶのはたのしい。うみの水（みず）ってほんとうにしょっぱいのかなあ？ あっ、すごくしょっぱい！でもどうしてしょっぱいのかなあ？ おサカナもいっぱいいるよ！ほんとに不思議（ふしぎ）なことがたくさんあるんだ、うみって！



保護者・指導者の皆様へ

川同様、海も危険です。でも、海水浴はみんなでいきますよね。海も川同様に子どもたちと同じところで同じ目線で遊んであげてください。とにかく目の高さをいつも子どもたちと同じ高さにして、海を見てあげてください。そうすると小さいと思った波でも案外大きく見えるんです。

それから、海の水がしょっぱいことを体験させてください。一緒に「どうしてしょっぱいのか」も考えてみてください。インターネットで調べればすぐにわかりますよ。※**ライフジャケットを必ず着用させてください。**

応用

4、土（つち）で遊（あそ）ぶ

つちっておもしろいなあ。なにでできているんだろう。よくわかんないけど、あなほったり、やまつくったりとにかくあそぼう！汚（よご）れることがおもしろいんだよ！ つちいじりは。

保護者・指導者の皆様へ

今回は一緒に遊んで一緒に汚れてあげてください！



応用

5、泥（どろ）で遊（あそ）ぶ

どろって、ぐによくによしていつめたくて、すっごくおもしろい！とにかくたのしい。ヌルヌル天国（てんごく）だあ～！

保護者・指導者の皆様へ

今回は覚悟を決めてください。大決心が必要です！そしてあなたも一緒に！泥んこになってゲラゲラ笑って子供と遊ぶ、一生の思い出です！



応用

6、雪（ゆき）であそぶ

ゆきってどうして白（しろ）いのかなあ？
さむいけどゆきがふるとわくわくする。おいしそうだなあ！
どんな味（あじ）がするのかなあ！



保護者・指導者の皆様へ

福井は雪の多い地域ですが、それでも年々少なくなっているような気がします。これも温暖化による異常な気象の影響かもしれません。雪だるまを作ったり、かまくらで秘密基地を作ったり、一緒に遊んでください。

応用

7、砂浜（すなはま）であそぶ

わくわくするすなはま！ 貝（かい）がらもおちている。
サラサラしていきもちいい！砂（すな）って何（なに）から
できているのかなあ？キラキラしていてふしぎがいっぱい！



保護者・指導者の皆様へ

砂浜の砂でこどもと一緒に遊んであげてください。砂に文字を書いたり、貝がらを拾ったりきれいな石を見つけたり、できたらそれを持って帰ってアクセサリーを作って思い出にしてください。

応用

8、木（き）の実（み）であそぶ

秋（あき）の森（もり）のなかはきのみがたくさん！
いろんなのがあるんだなあ？ きのみって、きのアカチャン
なのかなあ？ あっ、目（め）と口（くち）をかいたら
ひとつのおおになった！おもしろいなあ。



保護者・指導者の皆様へ

木の実を一緒に拾って一緒に遊んであげてください。絵を描いても楽しいですし、できればですが食べられるものは食べてみましょう！

応用

9、虫（むし）とあそぶ

あっ、ムシだ！どんなムシなのかなあ？ちょっとこわいけど・・・
でもどうしてもおもしろい！さわっちゃおうかなあ？



保護者・指導者の皆様へ

こどもにとって虫はとても興味をそそられる生き物です。こどもの本能なんです。ですからできるだけ虫のことを調べて、教えて、一緒に観察してください。こどもの気持ちになって。

応用

10、草（くさ）であそぶ

くさがいっぱいなあ！ごろごろころがったらきもちいい！
いろんなくさがあるなあ！



保護者・指導者の皆様へ

草原でこどもと一緒に遊んでみましょう。川原の土手でも構いません。
草笛で遊んだり、四葉のクローバーを探したり。そして、こどもと一緒に
寝転がって、大空を見上げてください。大の字になりましょう！

応用

11、どうぶつをみる

いろんなどうぶつをたくさんみたいなあ！
どうぶつっておもしろすぎる！たくさんみにいきたいなあ。



保護者・指導者の皆様へ

こどもは動物が大好きです。できるだけ好きなだけ見せてあげてください。
こどもの目線から見てみると意外に見え方が違います。
目線を下げて、こどもと一緒にになって観察しましょう！

応用

12、魚（さかな）をみる

いろんなサカナがおよいでいるなあ！水族館（すいぞくかん）
ってすごいなあ！あっ、このおサカナ、へんなかおしてるよー！



保護者・指導者の皆様へ

こどもは動物や虫同様、動く魚が大好きです。水族館に行く
と、つついどんどん進んでしまいますが、できるだけ長く
観察してください。そしてこどもたちに解説してあげてください。

応用

13、星（ほし）をみる

あーホシがたくさんある！おつきさまにうさぎはみえるかなあ？
ふしぎなきもちになる。どうしてホシってひかるのかなあ？



保護者・指導者の皆様へ

一度は夜、きれいな星空をこどもと一緒に見に行ってください。
お月さまの形や大きさ、一番星や一番明るい星など、
子供と一緒に寝転がって星空を観察しましょう！

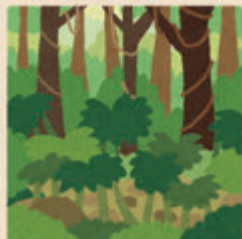
「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」

小学校低学年（1・2年生）向け 体験から五感を育てる

基本

14、森（もり）のいきものさがし

森へ行って、いきものたちをさがしてみよう！森の中にはいろいろないきものがあるよ。植物（しょくぶつ）だっていきもの、ムシだって、トリやカエルや、動物（どうぶつ）の足跡（あしあと）も見（み）つけられるかも。



保護者・指導者の皆様へ

子どもと一緒に、森のいきもの探しをしてください。植物はなかなか難しいかもしれませんが、花なら比較的観察できます。虫はもちろん、子どもの目の高さからみるといろいろないきものを発見できます。実際に触れるものは触ってもいいです。そのためにインターネットで危険な虫について調べていけば安心です。今は簡単にデジタルカメラで写真が撮れますので、見つけたいきものを写真で撮って、何種類撮れたかお家に帰って、子どもと一緒に調べてみましょう。この「復習」をすることが子どもの興味を育てるんです！

基本

15、川（かわ）のいきものさがし

川へ行って、いきものをさがしてみよう。川は流（なが）れがあって、危険（きけん）なので、かならずおとなといっしょにいこう。川のなかにもいきものはたくさんいるし、石（いし）の下（した）にもいるよ。草（くさ）のなかとか石の下とかにみんなかくれているんだ。だから、しずかにまっていればいきものたちはうごきだすよ！



保護者・指導者の皆様へ

川は危険がいっぱいですが、危険なことをしなければ、安全に観察することができます。子どもから目を離さないようにしてください。そのためには一緒にいきもの探しをして、一緒に観察したり、写真を撮ったりして、子どもと同じ行動をすることです。そして、川がどこから流れてきて、どこを通ってどこへ行くのかを教えてあげてください。福井県は高い山から川が里を通り、やがて町をぬけて海へ流れるという恵まれた地形です。ここに自然の循環があります。そのことを子どもと一緒に学んでみましょう！

基本

16、家（いえ）のまわりのいきものさがし

森や川といった自然（しぜん）のなかだけにいきものがいるわけではないんだ！実（じつ）は家のまわりにも、たくさんのいきものがいる。どんないきものがどれだけいるか調（しら）べてみよう。
いろんな発見（はっけん）ができるかもしれないよ！



保護者・指導者の皆様へ

是非、皆さんも子どもと一緒に家のまわりのいきものを探してみてください。いきものたちは、人間の暮らしをうまく利用して共生しています。家のまわりであってもたくさんのいきものを見つけられるはずです。家の敷地の中に共生しているいきものはいわば「家族・住人」です。こういった感覚で家のまわりのいきものを、子どもと一緒に見てあげてください。

基本

17、磯（いそ）のいきものさがし

磯のいきものさがしをやってみよう。いきものはみんな人間（にんげん）が近（ちか）づくとき身（み）を守（まも）るためにかくれてしまう。だからじっとして動（うご）かないように待（ま）ってみてくれ。そうすると、カニやサカナなど、いろいろな磯のいきものが動きだすよ！



保護者・指導者の皆様へ

磯のいきもの探しも、是非、子どもたちに体験させてあげてください。ただ、磯には危険がいっぱいです。滑りやすいし、尖った岩もごつごつあります。そういうところだからこそいきものがたくさんいるんです。引き潮の時間を調べて観察してください。潮が上がってくる前に観察は終了です。必ず、靴は履きましよう！運よくタコとか獲れちゃったら子どもと一緒に料理して食べちゃいましょう。地元の人に聞けば食べられる貝や海藻もありますよ。ただ、漁業権というものがあるので獲ってよいか確認してからがいいですね。そして、これはお約束ですが、必ず子どもと一緒に行動し、子どもの気持ちと子どもの視線と一緒に観察してあげてください。楽しい家族での磯の観察、記念写真を撮れば、楽しい思い出になりますね！

※ライフジャケットを必ず着用させてください。



小学校低学年（1・2年生）向け

応用

18、魚（さかな）を釣（つ）る

さおをもって魚釣りにつれていってもらおう。えさをつけて
つり糸（いと）をたらすと、ほら、ビクビクって魚がひいてるよ！

保護者・指導者の皆様へ

一度は、海でも川でも構いません。養殖場でもいいです。こどもと一緒に釣りを
してみてください。釣れない時はのんびり家族の時間を楽しみましょう。
そして、釣れたら持って帰って、こどもと一緒に料理して食べてください。
生きていた魚を自分で釣って、食べることは、とても貴重な体験になります。

※ライフジャケットを必ず着用させてください。※川で釣りをする場合は、
各河川を管理する漁業協同組合が発行する遊漁承認証の購入が必要です。



応用

19、生（い）きものを育（そだ）てる

めだかとか、カブトムシの幼虫（ようちゅう）とか、いきもの
を育ててみよう。自分（じぶん）で世話（せわ）をして、観察
（かんさつ）してみよう！

保護者・指導者の皆様へ

こどもに生きものを育てさせてください。インターネットや本で
調べれば育て方がわかります。それをこどもと一緒にしてあげて
ください。そしていきものは必ず死にます。死を見せてあげてください。
死を実感させてください。それから土に返してあげてください。土に返すこと
で土の栄養に戻ることを教えてあげてください。命が循環していることを。



応用

20、田（た）んぼでいきものさがし

田んぼのあぜみちでいきものを探してみよう！田んぼの水の中
をのぞくと、ほら、たくさんのいきものがあるよ。

保護者・指導者の皆様へ

福井県には田んぼがたくさんあります。田んぼに水がある時は
たくさんの生きものがあります。米どころ福井の記憶としては是非観察してください。



応用

21、目（め）を閉（と）じて音（おと）を聞（き）く

自然の中で、目を閉じて音を聞いてみよう。5分ぐらいガマン。
ほら！今まで聞こえなかったいろいろな音がきこえてくるよ！

保護者・指導者の皆様へ

目を閉じると、聴力が増します。驚くほどいろんな音が聞こえます。
一度こどもと一緒にやってみて、何が聞こえたか話し合ってみてください。



応用

22、鳥（とり）の声（こえ）を聞（き）く

鳥の声を聞きにしてみよう。林（はやし）でも森（もり）でもいい。はじめは鳴（な）いていなくとも、木陰（こかげ）でじっとしていればいろいろな鳥が鳴きだすよ！



保護者・指導者の皆様へ

人がじっとしていれば隠れていた鳥たちが鳴き出します。どれだけの種類がいるかこどもと一緒に聞いてみましょう。目を閉じればさらに聞こえますよ！

応用

23、焚（た）き火（び）を経験（けいけん）

焚き火っておもしろいなあ！ あったかいなあ！

でもやけどや火事（かじ）になるとたいへんだからかならず大人といっしょにね！



保護者・指導者の皆様へ

キャンプ場や自宅の庭など、焚き火が許される場所で、こどもに焚き火を体験させてあげてください。庭でバーベキューでもいいです。「火」のぬくもりと怖さを教えてください。※焚き火をする場合は、事前に消防署への届け出が必要です。

応用

24、紅葉（こうよう）を見（み）よう

紅葉ってきれいだなあ！ どうしてあんなにいろんな色になるのかなあ？ 葉（は）っぱを調（しら）べてみよう。



保護者・指導者の皆様へ

日本の原風景の特徴の一つが紅葉です。この現象を、あたり前のこととしてではなく、こどもたちと一緒に鑑賞し、何故紅葉するかを調べましょう。

応用

25、花（はな）を育（そだ）てる

自分で種（たね）をまいて、花をさかせてみよう。毎日水をあげて。自分の花がさいたらすごうれしいよ！ もし種がとれたら来年（らいねん）も植（う）えてみようね。保護者や指導者の方も一緒に育ててくださいね！



応用

26、化石（かせき）を発掘（はっくつ）

福井は恐竜（きょうりゅう）の化石がでたことで世界でも有名なんだ！ 一度（いちど）は化石の発掘たいけんをしてみよう。



保護者・指導者の皆様へ

福井県恐竜博物館の野外恐竜博物館では化石発掘体験ができます。化石は一つ持って帰れます。機会があれば是非体験してください。



「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」

小学校中学年（3・4年生）向け 食を通じて命の循環を知る

基本

27、山の食べ物体験



山の食べ物って、どんなものがあるのかなあ？

きのこや木の実、それだけじゃないよ。

イノシシだって鹿だって、おいしく料理すればほんとにおいしい！

せっかく山がたくさんある福井県に住んでいるのだから福井の山のおいしいものをたくさん食べよう。そしておいしい食べ物があるのは、まだまだ豊かな自然があるからだっていうことを学ぼう。

保護者・指導者の皆様へ

是非、こどもと一緒に福井の山の幸を味わってみてください。美味しいものを食べると幸せな気持ちになります。そして少しでもいいですから、豊かな環境があるからこそ、美味しいものがあるのだということも、こどもと一緒に考えてあげてください。せっかく山から海までつながっている福井県に住んでいるわけですから、これを楽しまない手はありません。自然の恵みである「食」を通じて環境を考えることも立派な自然体験です。さあ、自然の恵みツアーに出かけましょう！

基本

28、川の食べ物体験

川の食べ物といえば、やはりその代表選手は「魚」！

九頭竜川の鮎（アユ）はとっても有名なんだ。鮎の寿命

（じゅみょう）は1年ということを知ってるかな？

だから、おいしい時においしく食べてあげることも自然への感謝のしるしにもなる。一度は鮎の塩焼きを食べてみよう！



保護者・指導者の皆様へ

もちろん、川の幸は鮎だけではありません。もっと上流に行けばイワナやアマゴも食べることができます。食べる時はなるべく自然の風景を見ながら食べましょう！これがコツです。建物の中で食べずに、なるべく自然を感じながら食べてください！

基本

29、畑の食べ物体験



畑で採（と）れた野菜をいろいろ食べてみよう！
できれば、畑から掘らせてもらって料理してみよう。
汗（あせ）をかいて収穫（しゅうかく）した野菜はとってもおいしいよ！

保護者・指導者の皆様へ

福井には畑の幸もたくさんあります。土壌が豊かなおかげでできる作物や、水がきれいだからできる作物など、たくさんのおいしい野菜があります。普段はつついあたり前に食べてしまう野菜ですが、たまにはスーパーではなく、畑の収穫体験もいかがでしょうか？収穫体験でなくとも、直売所などでこどもと一緒に野菜を選んで料理してみてください。一緒にレシピを考えておいしい料理を作ってみてください。包丁の持ち方や切り方なども教えてあげてください。そして採れたての野菜の味を味わってください。

基本

30、海の食べ物体験



お魚の市場（いちば）に行ってみよう！とれたての魚がいろいろ並んでいるよ！お魚市場ではとれたてなのでまだ生きているタコやエビやカニも見られるよ！日本海の幸（さち）「おいしい魚たち」を自分の目でみて、食べてみよう！新鮮だからおいしくにきまっているよね！

保護者・指導者の皆様へ

福井の日本海の幸を、是非その目でこどもたちと一緒に見てください。一般消費者が買うことのできるお魚の市場に行ってみてください。買ったお魚をその場で料理してくれるところもあります。その場で食べるお魚は美味しい味の記憶として長くこどもたちの中に残ります。できることなら、食材として買って帰り、一緒にお魚をさばいて料理してみましよう。お魚の解体ショーを見せてあげることも貴重な体験です。

福井では大きく分けて4つのエリアに人々が暮らしています。山に近い生活、里山（中山間地域）の生活、市街地での生活、そして海辺の生活です。ですから、ご自分の経験の少ないところへ体験しに行ってください。そして福井全体の自然の恵みの味を覚え、すべて、つながっているということ、こどもと一緒に学んでいただけたらと思います。15P16Pの応用編でも、出かけて行った場所で、その土地の特産物を食べてみましょう！

応用

31、野菜を作って食べてみる

自分で野菜を作ってみよう！
プチトマトやきゅうりやナスであれば難しくありません！挑戦してみよう。

保護者・指導者の皆様へ
庭がある場合には庭で、庭がなければプランターで、こどもに野菜を作らせてみましょう。自分で世話をして収穫できた野菜はこどもにとってとても嬉しいものです。美味しいといって食べてあげてくださいね！



応用

32、キャンプを体験

キャンプへ行ってみよう！テントで寝たり、ごはんを作ったり
夜は星空を見ながら寝よう！

保護者・指導者の皆様へ
キャンプの経験がある方は、是非ともこどもたちをキャンプに連れて行ってください。経験がない場合は、こどものサマーキャンプ教室などへ可能ならば参加させてくださいね。
「不便が」面白かったり、新しい友達ができたり、とても良い体験となります。



応用

33、サイクリングで風と空気を感じる

自転車に乗って、風を感じてみよう！空気の匂いをかいでみよう。
大人と一緒に自転車で少し遠くまで行ってみよう。

保護者・指導者の皆様へ
時間のある休日、天気がよければこどもと一緒に少し遠くまでサイクリングしてみてください。風を感じながら走ってみてください。お家の近くでも発見がたくさんあります。家のまわりには町があって、そのまわりには自然があることを実感してみましょう！



応用

34、ツリークライミング

木に登ってみよう！でも、あまり高いところまでは行かないで遊んでね。木の上は楽しいよ！いろんなものが見えるかも！

保護者・指導者の皆様へ 単なる木登りですが、多くのこどもが体験していません。ツリークライミングの教室もありますよ。



応用

35、落ち葉を拾って観察

秋、落ち葉を拾いに林や森へ行ってみよう！
いろいろな形の落ち葉が見つかる。その下には生きものも！
落ち葉は森の栄養源（えいようげん）。落ち葉の役割を考えてみよう！

保護者・指導者の皆様へ

こどもと一緒に落ち葉拾いに行きましょう。きれいな葉は持ち帰り乾燥させて
図画工作の材料にもなります。それから、こうした落ち葉が虫や微生物によつて
分解され、栄養豊かな土になることを教えてあげてください。自然の中に無
駄なものは一つありません。すべてがつながり助け合って循環しています。



応用

36、蛍を見よう

なんて不思議なんだろう！ どうして光るんだろう！
夜の野山って、少し怖いけど、でも楽しい！

保護者・指導者の皆様へ

目的は2つあります。一つは蛍の美しさをこどもに見せるため。もう一つは、
自然の中での夜の間を経験させるためです。一緒に楽しんであげてください。



応用

37、湧水（ゆうすい）の味を覚えよう

湧水（わきみず・ゆうすい）ってほんとに飲めるのかなあ？
飲んだらおいしいのかなあ？ 一度飲んでみたいなあ！

保護者・指導者の皆様へ

福井県は水のたいへん清らかなところですよ。県内には県認定の
ふくいのおいしい水が35ヶ所（令和2年現在）あります。水質検査もされてい
る水です。是非一度、その味をこどもたちに覚えさせましょう。ふくいのおい
しい水はインターネットで検索できます。



応用

38、山から海までドライブ

わたしたちが住んでいる福井県は、山から海まで川を通じて
つながっているんだ！ 川の水が汚くなれば海も汚れてしまう！
だから、一度、山から海への道をたどってみよう！

保護者・指導者の皆様へ

是非一度、山から海への道を、車でもいいですし電車でもいいのでたどつて
みてください。福井が一つにつながっていることがわかります。



「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」

小学校高学年（5、6年生）向け 環境問題の現状把握

基本

39、山の空気が 何故おいしいのか考えよう

山の空気はおいしいなあ！

どうしてこんなにおいしい気持ちになるんだろう？

木の匂いもする。とにかくおいしいんだ！



保護者・指導者の皆様へ

漠然とした表現ですが、空気がおいしいという感覚を子どもたちに教えてあげてください。こういう感覚を持つことから自然に対する感受性の成長が始まるんです。もちろんおいしい理由があります。山の木々は二酸化炭素をきれいな酸素に換えてくれますし、フィトンチッドという木が出す殺菌性の化学物質の影響もあります。この物質は人々に安心感を与えリラックスさせる効果があるとされています。ですから森林は大切な存在なんですね、私たち人間にとって。そういったことも森の中で話しながら山の空気をいっぱい吸ってください。

基本

40、お年寄りから自然の話を楽しもう

今の生活や自然はわかるけど、昔はどうなって

いたんだろう？ 今とは「何」が違うのかなあ？

今と昔って、自然はどっちの方が良かったのかなあ？

そして、「何」がおもしろかったのかなあ？



保護者・指導者の皆様へ

子どものおじいちゃんやおばあちゃんでもかまいません。また、農家や漁師さんなど自然と共に生きてきたお年寄りなら最高です。子どもたちとお話するチャンスを作ってあげてください。小さい頃何をして遊んだのか？どんな虫を捕って遊んだのか？川の水は？虫は？食べるものは？今のようにイノシシの農作物被害は昔からあったのか？魚は今と比べてたくさん獲れたのか？など、子どもから質問する時間と機会が必要です。こうしたことから、子どもたちの中に、自分が生きている「今」の問題点を考えるきっかけが生まれます。

基本

41、地球温暖化の原因を考えよう

学校の授業でも、テレビでも新聞でも地球温暖化問題が深刻って言っているけど、どうしてもピンとこないなあ！
なんかよくわからないなあ！



保護者・指導者の皆様へ

地球温暖化の影響は深刻です。その影響で異常な気象状態が続いています。にもかかわらず、なかなか実感できないのも正直な感想だと思います。ですから家庭の中で地球温暖化の影響について子どもたちと真面目に向き合い話し合ってみてください。身の回りの出来事から地球温暖化の現象を考えてみてください。ちょっと考えれば、ちょっと気づけばあります。集中豪雨が多いとか、雪が少なくなってきたとか、果物や野菜の産地が変わったとか、よく見かけるいきものが変わったとか。そして原因も話し合ってみてください。とにかく一度子どもと話し合っただけませんか？
親が真剣に話せば、子どもにも深刻さが伝わります。これが第一歩です。

基本

42、身の回りの物が元は何か調べよう

家の中にはいろんなものがあるなあ！
すごいなあ人間って、いろんなもの作って！
でもちょっと待って、このいろんなもの、
元はなんだっただろう？ 何からできてるのかなあ？



保護者・指導者の皆様へ

私たちが生活の中で使っているありとあらゆるものはもともと自然界の中にあつたものです。すべて自然の恩恵です。それを科学技術で加工して使っているのが人間です。ですから一度「元は何からできているのか？」を子どもと話し合ってみてください。クイズ形式でもいいですよ。例えば、プラスチックはもともと原油、その原油は海のプランクトンなど沈殿物が地球の長い時間の中で変化したもの、つまりもともとは生きものです。こうやって考えるといかに人間が自然に依存して生きているかがわかりますよね。

応用

43、宇宙を見る

宇宙ってすごいなあ！

宇宙人っているのかなあ？星を見るってわくわくするなあ！

保護者・指導者の皆様へ

星を見ることはとても大切です。あまりにも壮大で果てしないような世界ですが、星空を見ることで、自分の小ささがわかります。それが自然や宇宙に対して謙虚になることにもつながります。



応用

44、外来種を探せ

外来生物って何だろう？何がよくないのだろう？

ちゃんと調べてみよう！

保護者・指導者の皆様へ

私たちの周りには外来種がたくさんいます。アメリカザリガニやブラックバスは代表的なものですが、調べると他にもたくさんいます。そのほとんどは人が持ち込んだもの。このことを調べて、話し合ってみてください。



応用

45、植樹活動に参加

植樹活動に参加して木を植えてみようかな？

植樹すると何かいいことあるのかなあ？

植樹するのはいいけど大きくなるまで誰が世話をするんだろう？

保護者・指導者の皆様へ

植樹活動への参加はたいへん意義のあることです。山の保水力の強化や、地球温暖化防止の一つにもつながります。ただし、木を育てるには長い年月がかかります。責任もって長い間育てることも大切です。そして、杉の山はいわば「山の畑」人工林です。よく見ると周りは人工林だらけ。人工林と、自然の森の違いも認識しましょう！これ、とっても大事なことです。



応用

46、田植えや稲刈り体験

田植えから稲刈りまでやってみたいなあ！

保護者・指導者の皆様へ

ご家族で機会があれば是非、田植えから稲刈りまで一度体験してみてください。秋にはおいしいお米が食べられますし、こどもにとってたいへん良い経験になります。体験は力になります。



応用 47、コシヒカリを炊こう



コシヒカリって、福井が発祥の地だったんだね！

保護者・指導者の皆様へ

コシヒカリのふるさとである福井。せっかくだから一度お釜でこどもと一緒に、ごはんを炊いてみてください。水は福井の湧水を使ってください。美味しいですよ、忘れられない味の思い出になります。

応用 48、船に乗って海を感じる

船に乗ってみたいなあ！海から陸をながめたら
どんな景色だろう？



保護者・指導者の皆様へ

機会があれば、こどもを船に乗せてあげてください。遊覧船でいいんです。海の大きさを感じさせてあげてください。そして海から陸を見せてあげてください。人は山側から海を見ますが、海側から街や山をあまり見ないんです。海からみると、山と海が繋がっていることがよくわかりますし、「人の生活圏」がよくわかります。

応用 49、浜辺のゴミ拾いに参加

浜辺っていろんなゴミが流れてくる！川からもゴミが流れてくるんだ。

保護者・指導者の皆様へ

家族で一度浜辺のゴミ拾いに参加してみてください。たくさんのゴミが流れ着いています。ビニールゴミは海のいきものがえさと間違っって食べて死んでしまいます。だから絶対に捨てないで！



応用 50、命のつながりを考えよう

地球では人間が一番強いのかなあ？

保護者・指導者の皆様へ

さあ最後です。家族で話し合っていたきたいのが、命のつながりです。人間は自然がなければ生きられないのに、自然を壊しながら使ってきました。ですから環境のことにこれからも興味を持つよう話し合ってください。「人は自然がなければ生きていけませんが、自然は人がいなくとも生きていけます！」 やっぱ自然の方が強いんです！



どうして地球温暖化を防がなければいけないの？

おーい、みんな！ いま、地球（ちきゅう）がたいへんなんだ！

どんどん温度（おんど）が上（あ）がっている！

温度が上がると、人間（にんげん）を含（ふく）めた地球上（ちきゅうじょう）の生きものたちに、いろいろな悪（わる）い影響（えいきょう）があるんだ！
そしてそれは、わたしたち人間のせいなんだよ！

人間が生活（せいかつ）するには、エネルギーが必要（ひつよう）だよー！

今までは、石油（せきゆ）や石炭（せきたん）や天然（てんねん）ガスといわれる化石燃料（かせきねんりょう）を、生活で使（つか）えるエネルギーに変（か）えて、人間がたくさん使ってきた。たくさん使うと、空気中

（くうきちゅう）に二酸化炭素（にさんかたんそ）がたくさん出（で）てしまう。これが地球の温度を上げてしまっているんだ！

人間が使っている化石燃料は、地球の大切（たいせつ）な資源（しげん）！

大切な資源も、どんどん使っていけば、そのうちになくなってしまう！

もちろんなくなってしまったら困（こま）る。みんなわかっていたんだけど、快適（かいてき）な生活（せいかつ）ばかり考えてしまったんだ！

たとえば、エネルギーとして、電気（でんき）がなければ困（こま）るよー、ガソリンがなければ車（くるま）も動（うご）かない！ こんな風（ふう）に便利（べんり）は気持ちいいから、人間は化石燃料をたくさん使ってしまい、たくさんエネルギーを使い、たくさん二酸化炭素を出してしまった！

みんなが使（つか）っているいろいろなモノもこうしたエネルギーを使って作られるんだ！ だからモノを大切（たいせつ）に使わなくちゃいけないんだよね。そして今、世界中（せかいじゅう）の人々（ひとびと）がやっと気がついたんだ。

だから、みんなで温度を上がらないようにしなくちゃいけない。

未来（みらい）の自分たちのために、小学生（しょうがくせい）のみんなもできること、やってみて！！

★ 23ページと24ページに書いてあるからやってみてね！



保護者・指導者の皆様へ

地球温暖化防止は、人類共通の最重要課題です。
なかなか実感が湧かないのでついついダラダラになってしまいがちですが、「わかっているけどなかなかできないなあ」という時期ではなくなってしまいました。世界中が気が付き、なんとか2050年までに温室効果ガス排出ゼロを目指して頑張ろうと叫ばれているのはご存知のはずです。しかし、なかなか世界各国の足並みが揃わず、また、今回の予想外のコロナ禍など、取組は遅れてしまっています。しかし、地球温暖化は、待つはくれません。こうしているうちにもどんどん進んでしまっています。ですから、お子さんと一緒に、まずは考えてみてください。そして、できることで構いませんので一歩でも二歩でも前に進んでみてください。

そんな理由から、今回、この冊子に「+地球温暖化を防ぐ10のできること」を掲載させていただきました。情報ソースは、地球温暖化防止・カーボンニュートラルの実現へ向けて、環境省のゼロカーボンアクション30の中から、子どもたちにでもできることを10個アレンジしてピックアップしたものです。是非一度、環境省のゼロカーボンアクション30をご覧ください。



また、福井県でも

「地球温暖化ストップ県民運動 ふくいゼロカーボンアクション」を行っています。



このマーク、見たことあると思いますが、福井県は2020年7月に、2050年までに「ゼロカーボン」を目指すことを宣言しました。

「ゼロカーボン」とは、地球温暖化の原因、温室効果ガスの多くを占める二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることです。

この目標の達成に向けては、みなさん一人ひとりの取り組みが重要です。

エコチャレふくいとは、
「誰でも手軽にできるエコなチャレンジ」
家庭でも、企業でも、地域でも、
無理のない範囲で省エネ活動を実践し、
皆さんとともに明日の地球を救いましょう！



地球温暖化を防ぐ10のできること

1 クールビズ・ウォームビズ！

寒（さむ）いときにはたくさん着（き）て、暑（あつ）いときには薄着（うすぎ）で！なるべく体（からだ）を動（うご）かして、ついでに元気（げんき）な体を作（つく）っちゃおう！

2 電気（でんき）を節約（せつやく）！

必要（ひつよう）な時（とき）だけスイッチオン。使（つか）わない時はすぐにスイッチオフにしてね！

3 水（みず）だってもったいない！

水は、蛇口（じゃぐち）をひねるとあたりまえのように出（で）てくるけど、ここに来（く）るまでに長（なが）いきよりをポンプで運（はこ）ばれてくる。水を運ぶためにもたくさんのエネルギーを使っている。だから出（だ）しっぱなしはダメなんだ！

4 スマートムーブ！

どこかへ行（い）くとき、できるだけ歩（ある）いていこう。体も強（つよ）くなるからね！お父（とう）さんやお母（かあ）さんをさそって電車（でんしゃ）やバスででかけるものいいね。

5 すききらいをせずに、食（た）べのこしをやめよう！

食べ物（たべもの）を作（つく）るときも、運（はこ）ぶときも、調理（ちょうり）するときもたくさんのエネルギーをつかっているんだ！だから食べ物を残（のこ）して捨（す）てることは、エネルギーを捨てているのと同（おな）じなんだ！もったいないよねー！※でもアレルギーがあるときは大人（おとな）にきちんと話（はな）してね！

6 なるべく地元（じもと）の食べ物を食べて！

福井（ふくい）には、おいしい物がたくさんある。地元の食べ物を食べれば、遠（とお）くから運（はこ）んでこなくてもいいからエネルギーを節約（せつやく）できる。それにみんなもふるさと福井のおいしい物を覚（おぼ）えられるしね！

7

なんでもそうだけど使い捨て（つかいすて）は、もうやめよう！

洋服（ようふく）や文房具（ぶんぼうぐ）など、身（み）のまわりものは大事（だいじ）に使（つか）おう！ 直（なお）せるものはなるべく直して長（なが）く使おう！ これからはそれがカッコイイ！
みんなでそういう社会（しゃかい）を作（つく）っていくことが大事なんだ！

8

とにかくゴミをへらす！

ゴミをへらすことは、エネルギーをへらすことにつながる。
ゴミだってもともとは作られたもの。どんなものでもエネルギーを使って作られているんだ。ゴミを処分（しよぶん）する時にもまたエネルギーを使う。
だからゴミをへらそう！ どこまでへらせるか挑戦（ちようせん）してみてね！

9

とくに使い捨て（つかいすて）のプラスチックは
できるだけ使わないようにしましょう！
そして外（そと）に捨てるのは絶対（ぜったい）ダメ！

プラスチックやビニール袋（ぶくろ）は、自然（しぜん）にもどらない！
海（うみ）に流（なが）れ出（で）て生き物（いきもの）の体（てい）にからまってしまったり、
そのまま細（こま）かくなって、それを知（し）らずに鳥（とり）や魚（さかな）
が食べて病（びょう）気に（びょうき）になってしまう。
プラスチックを作るときにもエネルギーを使うのに、きちんと処分（しぶん）しないととつと悪（わる）いことにつながってしまう！ だからプラスチックやビニール袋はなるべく使わないようにして、絶対（ぜったい）外（そと）には捨（す）てないでね！

10

環境活動（かんきょうかつどう）に参加（さんか）してみよう！

木（き）を植（う）える活動（かつどう）やゴミ拾（ひろ）い活動（かつどう）に参加（さんか）しよう！
木（き）を植（う）えることは地球温暖化（ちきゅうおんだんか）を防（ふせ）ぐことに役立（やくだ）つ。
ゴミ拾（ひろ）い活動（かつどう）にも参加（さんか）してみよう！
どんなゴミがどれだけ捨（す）てられているか勉強（べんきょう）になるよ！

環境ふくい推進協議会の紹介

具体的な活動

環境に関する講演会や情報提供

- ・環境フェアの開催
- ・企業見学会の開催
- ・環境マネジメントセミナーの開催
- ・情報誌「みんなのかんきょう」の発行
- ・メールマガジンの発行 など



環境フェアの様子



県外先進企業の見学会

環境保全団体に対する育成、支援

- ・環境保全団体のスキルアップセミナーの開催
- ・おもちゃ病院への支援
(おもちゃ病院の開催、おもちゃドクター養成講座)
- ・リユース活動への支援 など



おもちゃ修理の様子



子育て用品リユース市

地域に根ざした実践活動

- ・クールシェアふくいの実施
- ・まごころ古本市の開催
- ・こどもエコクラブ活動の支援
- ・環境アドバイザーの派遣 など



こどもエコクラブ活動



環境アドバイザーによる出前講座

県民の皆様へ

環境ふくい推進協議会では、随時会員を募集しています。環境問題に関心のある方や情報誌「みんなのかんきょう」を読みたい方、当協議会主催行事等の情報を知りたい方はぜひご入会ください。お待ちしております！

- <年会費>
- | | | | |
|------|------|---------|-------------|
| 個人会員 | ： 1口 | 500円 | (1口以上何口でも可) |
| 企業会員 | ： 1口 | 10,000円 | (1口以上何口でも可) |
| 団体会員 | ： 無料 | | |
- ※会費は、環境保全活動の支援や啓発活動等へ活用されます。

<お申込み・お問い合わせ>

環境ふくい推進協議会事務局 (福井県環境政策課内)
福井市大手3丁目17番1号 TEL : 0776-20-0301 (直通)
FAX : 0776-20-0734

お知らせです

環境ふくい推進協議会では、自然観察ツアーやエコツアー、植樹や清掃活動の保全活動等をおこなっている県内の環境保全団体や事業者、ボランティア団体をご紹介します。ホームページをご覧ください。



<http://www.kankyoku-fukui.jp/>

福井県でも、いろいろな自然体験などをおこなっていますので、下記のホームページも参考にいただければと思います。

里山里海湖研究所 <http://satoyama.pref.fukui.lg.jp/>
自然保護センター <http://fncc.pref.fukui.lg.jp/>
海浜自然センター <http://fcnc.jp/>



環境ふくい推進協議会は、国際連合が推奨するSDGsに取り組んでいます

この冊子作りのためにワークショップ（平成27年）でアイデアを出していただいた方々（あいうえお順・敬称略）

大石橋 節子	森の楽校とようちえん「ほてころころ」	高島 鉄直	パナソニック松愛会 北陸支部 支部長
大南 新一	あわらの自然を愛する会 副会長	立野 久夫	神山壮年有志グループ 会長
垣内 秀志	神山壮年有志グループ 事務局長	田辺 一彦	(有)湖上館 代表
河田 勝治	あわらの自然を愛する会 会長	中谷 万勲	福井市明るい社会づくり推進協議会 スタッフ
坂下 志津	国際ソロプチミスト福井 会長	野村 昭一	福井を美しくする会連絡協議会 会長
坂本 直子	ノーム自然環境教育事務所 副代表	野村 みゆき	越前市エコビレッジ交流センター 指導員
坂本 均	ノーム自然環境教育事務所 代表	増田 茂	NPO 法人中池見ねっと 理事
鈴木 早苗	土曜塾 塾長	和多田 裕己	(有)湖上館

デザイン・構成：鈴木順一郎
協賛：北陸環境共生会議
協力：福井県教育委員会

イラスト協力：いらすとや
製作：令和4年3月 改訂版（平成27年初版）
発行：環境ふくい推進協議会

まほん

こうもく

おうよう

こうもく

けい

こうもく

たいけん

基本 15 項目

応用 35 項目

計 50 項目

体験チェックシート

たいけん たいけん
体験したものは塗りつぶして目標にしてみよう！ いくつ体験できるかな？

たいけん たいけん
体験したもの、または、すでに体験したものは を塗りつぶしてね！

幼児向け	小学校低学年 (1・2年) 向け	小学校中学年 (3・4年) 向け	小学校高学年 (5・6年) 向け
1、もりであそぶ <input type="checkbox"/>	14、森 (もり) のいきものさがし <input type="checkbox"/>	27、山の食べ物体験 <input type="checkbox"/>	39、山の空気が何故おいしいのか考えよう <input type="checkbox"/>
2、かわであそぶ <input type="checkbox"/>	15、川 (かわ) のいきものさがし <input type="checkbox"/>	28、川の食べ物体験 <input type="checkbox"/>	40、お年寄りから自然の話の間こう <input type="checkbox"/>
3、うみであそぶ <input type="checkbox"/>	16、家 (いへ) のまわりのいきものさがし <input type="checkbox"/>	29、畑の食べ物体験 <input type="checkbox"/>	41、地球温暖化の原因を考えよう <input type="checkbox"/>
4 つちであそぶ <input type="checkbox"/>	17、磯 (いそ) のいきものさがし <input type="checkbox"/>	30、海の食べ物体験 <input type="checkbox"/>	42、身の回りの物が元は何か調べよう <input type="checkbox"/>
5 ドロであそぶ <input type="checkbox"/>	18 魚をつる <input type="checkbox"/>	31 野菜を作って食べてみる <input type="checkbox"/>	43 宇宙を見る <input type="checkbox"/>
6 ゆきであそぶ <input type="checkbox"/>	19 いきものを育てる <input type="checkbox"/>	32 キャンプを体験 <input type="checkbox"/>	44 外来種を探せ <input type="checkbox"/>
7 すなはまであそぶ <input type="checkbox"/>	20 田んぼでいきものさがし <input type="checkbox"/>	33 サイクリングで風と空気を感ずる <input type="checkbox"/>	45 植樹活動に参加 <input type="checkbox"/>
8 きのみであそぶ <input type="checkbox"/>	21 目をして音をきく <input type="checkbox"/>	34 ツリークライミング <input type="checkbox"/>	46 田植えや稲刈り体験 <input type="checkbox"/>
9 ムシとあそぶ <input type="checkbox"/>	22 鳥の声をきく <input type="checkbox"/>	35 落ち葉を拾って観察 <input type="checkbox"/>	47 コシヒカリを炊こう <input type="checkbox"/>
10 くさであそぶ <input type="checkbox"/>	23 たき火を経験 <input type="checkbox"/>	36 虫を見よう <input type="checkbox"/>	48 船に乗って海を感ずる <input type="checkbox"/>
11 どうぶつをみる <input type="checkbox"/>	24 紅葉を見よう <input type="checkbox"/>	37 湧水の味を覚えよう <input type="checkbox"/>	49 浜辺のゴミ拾いに参加 <input type="checkbox"/>
12 サカナをみる <input type="checkbox"/>	25 花を育てる <input type="checkbox"/>	38 山から海までドライブ <input type="checkbox"/>	50 命のつながりを考えよう <input type="checkbox"/>
13 ほしをみる <input type="checkbox"/>	26 化石を発掘 <input type="checkbox"/>		

保護者・指導者の皆様へ

自然体験は、無理をする必要はありません。興味があって、できることをやってみましょう。